

# 音楽 1 学年

## はじめに

中学校の音楽は、表現（歌ったり、楽器を演奏したり、ふしを創ったり）することと、鑑賞（音楽を聴いて感じたり）するといった幅広い活動を通して、音楽を好きになり、豊かな心を育て、音楽的な活動の出来る力をつけていくための授業です。

## 年間計画

題 材 名	教 材	時	目 標
①歌うなかまをつくろう（歌唱）	「校歌」 「Forever」	5	・新しい仲間といっしょに歌う喜びを味わう。・のびのびとした明るい声で歌い、発声の基本を身に付ける。
②身近な楽器に親しもう（器楽・創作）	「エーデルワイス」 「Michael, Row The Boat Ashore」 簡単コード（C,G7）	5	アルトリコーダーの基礎的な奏法を身に付ける。・美しい音色の演奏を工夫して表現する。・旋律と和音のかかわりに気づく。
③フォスターの曲に親しもう（歌唱・鑑賞）	「主人は冷たい土の中に」 「おお スザンナ」など	3	・部分二部合唱を通して歌い合わせる楽しさやハーモニーを感じ取る。・合唱曲の鑑賞を通して、合唱の豊かな響きを味わう。
④イメージをふくらませて聴こう（鑑賞）	E T “フライングテーマ” ロッキー “ロッキーのテーマ” ・スターウォーズ “メインテーマ” 四季より「春」	3	・映画の場面や登場人物の心情とのかかわりを感じ取って聴き、音楽を広く愛好する心情を育てる。・イメージをふくらませ、情景を想像しながら聴く。
⑤合唱曲に挑戦しよう	合唱コンクールに向けて	7	・声部の役割を知り、混声合唱の響きを感じ取って歌い合わせる喜びを味わう。
⑥シューベルトの歌曲に親しもう（鑑賞）	「魔王」「野ばら」 「アヴェ マリア」 など	3	・豊かな歌声と多彩なピアノ表現及びピアノ伴奏の効果を感じ取る。
⑦心の歌を歌いっこ（歌唱）	「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	5	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取って歌唱表現を工夫する。・拍の流れやフレーズを感じて表現する力を養う。
⑧リズムアンサンブルを楽しもう（創作）	・リズム打ちの基本練習「クラッピングカルテット」	2	・手拍子で基本的なリズムやリズム打ちをマスターした後、グループでリズムアンサンブルを行う。

⑨アジアの諸民族の音楽や郷土の音楽に親しもう（鑑賞）	・アジアの諸民族の音楽 ・日本の郷土の音楽	2	・アジアや日本の郷土の音楽を試聴し、さまざまな音楽に触れ、その良さを感じ取る。
⑩決まったリズムを使って旋律をつくろう（器楽・創作）	My Melody	3	・リズムや旋律を知覚し、音楽の構成を理解して、二部形式の簡単な旋律をつくり演奏する。
⑪日本の音楽に親しもう（鑑賞・器楽）	箏の基本練習 「さくらさくら」 箏曲「六段の調べ」	6	・日本の音や音楽に関心をもち、日本の伝統的な音楽に触れる。・和楽器に親しみ、実際に触れてみることによりさらに興味・関心を高める。
⑫希望をふくらませて歌おう（歌唱）	「校歌」 学年合唱曲	8	・曲にふさわしい歌い方を工夫し、表情豊かに歌う。・音楽と行事のかかわりを大切にする心情を養う。

## 教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようセットしておきましょう。

## 観点別評価について

- |               |   |                     |
|---------------|---|---------------------|
| ①音楽への関心・意欲・態度 | ・ 持ち物忘れ、提出物の状況  | ・ 学習全体への関心、活動への参加状況 |
| ②音楽表現の創意工夫    | ・ 知識、理解の様子（定期テスト含む）   |                     |
| ③表現活動の技能      | ・ 歌詞の内容や曲想をいかした音楽表現をするための発声や技能を身につけている                      |                     |
| ④鑑賞の能力        | ・ 読譜力や基本的な技能などの理解度（定期テスト含む）                                 |                     |
|               | ・ 楽曲の特徴を理解し、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じている。                      |                     |
|               | ・ 言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。<br>(授業中の発言やワークの内容、定期テストなど) |                     |

## おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしがったりするものです。そんな仲間を互いに思う気持ちを大切にして授業に臨んでほしいと思います。

# 音楽 2学年

## ◇学年目標

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## 年間計画

題 材 名	教 材	時間	目 標
①曲想の変化の理解と表現の工夫	「夢の世界を」	3	曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう。
②声部の重なり方の理解と表現の工夫	翼をください	3	曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫しよう。
③クラス選択の合唱曲		6	他の声部のメロディを感じ取り、より豊かなハーモニーで合唱する
④歌詞の内容を味わって歌おう（歌唱）	「夏の思い出」 「荒城の月」	3	○言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。m曲のもつ情緒を味わい、それを支える○音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、歌唱表現を工夫する。
⑤カンツオーネに親しもう（鑑賞・歌唱）	「サンタルチア」	3	• カンツオーネに親しみ、曲想の変化を理解して聴き、表現に生かす力を養う。
⑥楽器の特徴を生かして表現しよう（器楽・創作）	「テキーラ」（ラテン楽器で即興）など	1	各楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する力を養う。
⑦曲の仕組みを理解して聴こう（鑑賞） オペラの名曲を味わおう（鑑賞）	「フーガト短調」 「交響曲第五番ハ短調」 「アイーダ」など	5	• オーケストラと「声」とが生み出す豊かな表現を味わう能力を育てる。 • 音楽と他の芸術との関わりを感じ取りながら総合的に理解して楽しむ。

⑧日本の音楽に親しもう（鑑賞）	歌舞伎「勸進帳」、文楽など	4	歌舞伎や文楽の魅力やよさを味わい、我が国の伝統音楽に親しむ心情を養う。
⑨より大きなステージで歌う力をつけよう	• 「校歌」・学年合唱曲 • 卒業式の歌	7	• 行事への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 • 詩情を感じ取りながら、感動的で心に残る音楽表現ができるようにする。

時間数はあくまでも目安です。いくつかの単元を組み合わせながら授業を進めていきます。

## 教科の先生からのアドバイス

- 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようにセットしておきましょう。
- 成績はテストだけでは決まりません。日々の態度や、ワークシートの内容、歌・リコーダーの技能テスト、鑑賞文など様々なものが評価の対象です。

### ①音楽への関心・意欲・態度

- 持ち物忘れ、提出物の状況
- 学習全体への関心、活動への参加状況
- 知識、理解の様子（定期テスト含む）

### ②音楽表現の創意工夫

- 音楽を形作る様々な要素を支えとして音楽表現を工夫する。
- 曲の形式や諸記号、構成などの理解度（定期テスト含む）

### ③表現活動の技能

- 歌詞の内容や曲想をいかした音楽表現をするための発声や技能を身につけている
- 読譜力や基本的な技能などの理解度（定期テスト含む）

### ④鑑賞の能力

- 楽曲の特徴を理解し、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じている。
  - 言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
- （授業中の発言やワークの内容、定期テストなど）

## おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしかったりするものです。

それをカバーするのは学級の雰囲気です。仲間を思う気持ちを大切にできるクラスであってほしいと思います。

# 音楽 3学年

## ◇学年目標

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## 年間計画

題 材 名	教 材	時	目 標
①歌詞の美しさを味わいながら歌おう（歌唱）	「花」（二部合唱） 「早春賦」（斉唱） 「花の街」（斉唱）	5	・我が国の四季の美しさを感じ、歌詞の内容を理解して表現する。 ・詩と旋律、ハーモニーの美しさを感じながら表情豊かに歌う。
②曲の雰囲気や特徴を生かして表現しよう（歌唱）	「Tomorrow」	3	・自分のもつイメージをふくらませて副旋律の表現を工夫する。
③リズムの創作をしよう（創作・器楽）	和太鼓を用いて	3	いくつかの和太鼓を使って仲間とリズム創作をし、アンサンブルをしてみよう
④豊かな響きで合唱しよう（歌唱・鑑賞）	各クラス選択の合唱曲 合唱の名曲	7	・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させ、充実感を持って歌うようにする。 ・詩情を味わい、美しい発音と響きのある歌声で表現する。 ・合唱の名曲を鑑賞し、声のひびきやハーモニーの美しさ味わう。それらを自分たちの表現に生かす。
⑤総合芸術を味わおう（鑑賞）	バレエの名曲 「白鳥の湖」など	5	・バレエの名曲を通して、他の芸術とのかかわりを感じ取りながら鑑賞し、総合的に理解して楽しむ
⑥世界の音楽を歌おう（歌唱）	「帰れソレントへ」など	3	・さまざまな国や地域の音楽の特徴を知り、その曲にふさわしい表現の工夫をする。
⑦音楽の特徴を聴き	連作交響詩「我が祖国」	3	・音楽を形づくっている要素の知覚を

取り、情景と曲想の変化とのかかわりを味わって鑑賞しよう（鑑賞）	から「ブルタバ」		通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表して批評文に書き表す。
⑧心に残る音楽を表現しよう（歌唱）	「旅立ちの日に」・「校歌」・卒業式で歌う合唱曲	6	・卒業生としての意識を高め、音楽と行事とのかかわり合いを通して豊かな表現をする。 ・全校生で合唱することにより、校風や伝統を伝える心を育て、より豊かな響きで歌い合わせる喜びを感じ取るようにする。 ・心を込めて思い出に残る合唱ができるようにする。

時間数はあくまでも目安です。複数の単元を組み合わせる授業を進めていきます。

## 教科の先生からのアドバイス

- ・始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようにセットしておきましょう。
- ・成績はテストだけでは決まりません。日々の態度や、ワークシートの内容、歌・リコーダーの技能テスト、鑑賞文など様々なものが評価の対象です。

①音楽への関心・意欲・態度	・持ち物忘れ、提出物の状況 ・知識、理解の様子（定期テスト含む）	・学習全体への関心、活動への参加状況
②音楽表現の創意工夫	・音楽を形作る様々な要素を支えとして音楽表現を工夫する。 ・曲の形式や諸記号、構成などの理解度（定期テスト含む）	
③表現活動の技能	・歌詞の内容や曲想をいかした音楽表現をするための発声や技能を身につけている ・読譜力や基本的な技能などの理解度（定期テスト含む）	
④鑑賞の能力	・楽曲の特徴を理解し、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じている。 ・言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 (授業中の発言やワークの内容、定期テストなど)	

## おわりに

本校の合唱力は3年生によって大きく引き上げられてきました。仲間を大切に、歌い合わせる喜びを共有して卒業に向かいたいものです。